独協通信

題字・天野貞祐

第 93 号
令和元年 12 月 1 日発行
発行所　〒 112-0014　東京都文京区関口3-8-1
TEL ／ FAX 03（3946）6352（ 直 通 ）
獨 協 同 窓 会　発行責任者　木 原 正 義

主な内容

伝統ある獨協同窓会を継承するために …… 木 原 正 義 …（１）
令和元年度 通常総会・懇親会報告 …… 沖 山 秀 司 …（２）
総会前 特別講演会報告 …… 谷田貝茂雄 …（３）
獨協祭参加報告 …… 沖 山 秀 司 …（４）
獨協ぶらり旅 ……（５）
グッズ紹介 ……（６）
ＯＢ会紹介コーナー　鉄道研究部 ……（７）
ドイツ エコレアインターナショナルスクールとの交流 …… 松本麻里子 …（８）
ドイツ柔道講習会指導報告…… 萩 野 元 祐 …（９）
《がくらん》の漢字について …… 昼 間 良 次 …（10）
クラス会・ＯＢ会 愉快だより ……（10）
獨協ソフィア会からのお知らせ ……（13）
私の近況 ……（13）
寄付金納入者一覧 ……（15）
物故者名簿……（15）
クラス会・OB会等補助金のお知らせ ……（15）
協賛広告募集のご案内……（16）

http://www.dokkyo-mejiro.com　https://www.facebook.com/groups/297418860299984/

伝統ある獨協同窓会を継承するために

会長　木 原 正 義　（昭和 47 年卒）

元号が平成から令和に変わり、９月に始まったラグビー W 杯 2019 日本大会が日本チームの活躍もあり各地で大変な盛り上がりを見せる中、来年には東京で 56 年ぶりに東京 2020 オリンピックが開催されます。

今年の NHK 大河ドラマ「いだてん」は、日本人初のオリンピック選手で獨協と大いに関わりのある金栗四三と嘉納治五郎をはじめ東京にオリンピックを招致するために努力された人々の姿が描かれています。

さて、本年は 202 名の新同窓会員を迎えました。6 月 15 日には通常総会・懇親会を執り行い、平成 30 年度の活動・会計報告ならびに令和元年度の活動・収支計画が承認され、現執行部の２年目がスタート致しました。

９月 21 日、22 日には今年も獨協祭に参加し、前述の金栗四三の特集をはじめたくさんの展示や来場者の写真撮影等を行い、例年にも増して多くの方々にご来場頂きました。

また、常任幹事でもある神山一郎さん（昭和 20 年－５卒）にはご自身の作品の展示（後述）を含め大変なご足労をおかけいたしました。同い年で常任幹事の黒沼昭夫さん、お二人とも－ 90 歳を超えてなお獨協のためにいつもと変わらずご尽力していただきまして感謝に耐えません。さらに宮田和夫元会長のお元気な姿を拝見することができ、諸先輩方が築き上げた獨協同窓会の伝統をいつまでも守り続けていきたいと改めて感じた次第です。

独協通信への寄稿件数（クラス会便り・近況報告などを含め）は、増加の一途を辿っています。同窓生がやっているお店を紹介する「獨協ぶらり旅」も回数を重ね、大変好評をいただいております。若い会員からのアクセス件数も増加しており、今後とも皆様のニーズを反映させた活動を執って参りたいと考えております。

新メンバーによる執行部体制で１年間を過ごしてまいりましたが、会費納入率が低いこと、若手会員の関心が低いこと、執行部をはじめ実働していただける幹事、常任幹事の高齢化など問題が山積しております。そんな中昨年より事務局長として経験豊かな木田宏海さん（S46）に参画して頂き、同窓会組織の改正に取り組むと共に、事務室の対応力を増やす事が出来ました。 同窓会室に常勤しているのは月・木 の 13:00 ～ 16:30 と以前と変わりませんが、お気軽にご連絡ください。

獨協中学・高校では令和２年から始まる大学入試改革に対応すべくカリキュラムの改正やハード面での充実化に向けた取り組みを積極的に行なっています。われわれ同窓会も PTA、後援会と手を組んで母校の発展のために支援をしてゆく所存です。

今後とも皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

令和元年度 通常総会終了後に

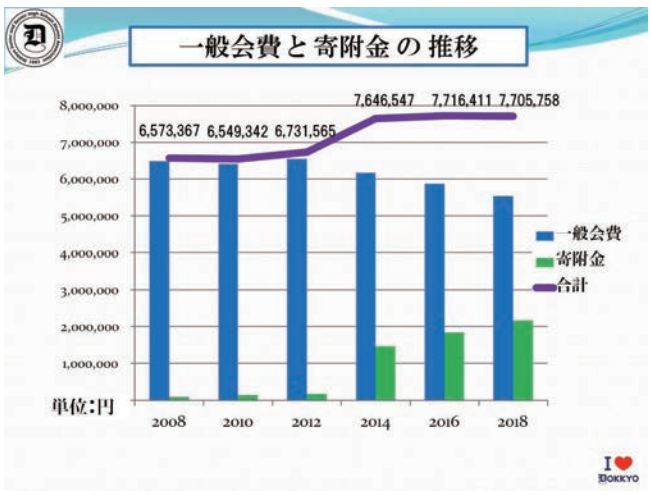
令和元年度 通常総会・懇親会 報告

幹事長　沖 山 秀 司（昭和49年卒）

通常総会

令和元年度通常総会は、6 月 15 日（土）午後 4 時 30 分から母校小講堂で開催され約 50 名の会員が参加された。総会に先立ち恒例となった同窓会賞を松本教頭先生からご紹介された優秀生徒 4 名に木原会長から記念品が贈られた。次に来賓の渡辺校長、松本教頭、坂東教頭、大和事務長の紹介があり、渡辺校長からご挨拶を頂いた。また、母校図書費 20 万円が木原会長から贈呈された。引き続き平成 30 年度中に逝去された会員に対しご冥福を祈り黙祷が捧げられた。

議事の進行は議長を務める木原会長の挨拶で開始された。最初に議事録署名人 2 名（小梛氏、野村氏）を推薦し承認を得、92 号通信に記載された議案書通りに進行した。1 号議案：平成 30 年度事業報告及び 2 号議案：収支決算が報告され、浅野監事より会計監査報告があった。3 号議案：令和元年度事業計画及び 4 号議案：収支計画が説明され、全ての議案は承認され閉会に至った。



懇 親 会

通常総会終了後、午後 6 時 30 分から椿山荘 雅の間にて開催され、来賓、母校教職員、そして 30 名を超える新会員を含む約 150 名が出席した。谷田貝副会長の司会のもと、会長挨拶に続き、渡辺校長から同窓会への謝辞を頂戴した後、浅野監事による乾杯発声で宴が開始された。当日の荒天が出席者数に影響を及ぼす中、恒例となった母校吹奏楽部の演奏で会を盛り上げて頂いた。OB 教諭は、吉田卓司先生、音海紀一郎先生、本年退職された兼田信一郎先生に出席頂いた。

総会前 特別講演会 報告

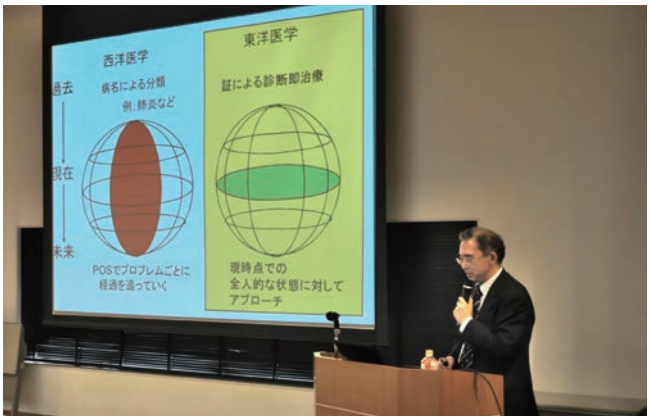
副会長　谷田貝茂雄（昭和51年卒）

高齢者の漢方治療

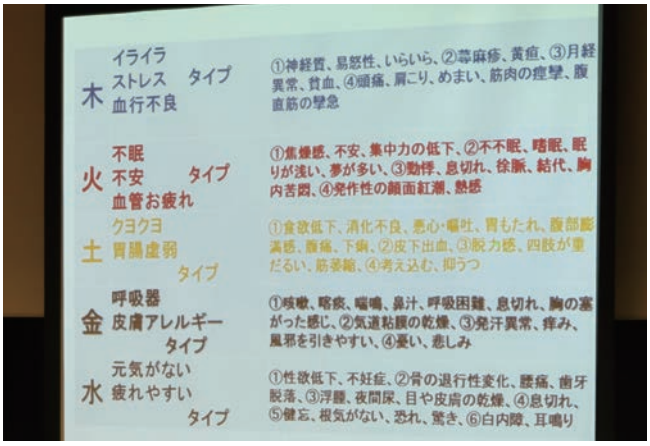
同窓会総会前特別講演会では、参加者の年齢を鑑み、また世間では「医者の出す薬が多い」などの話題を考えて、漢方医学として経験を積んでいる室賀一宏さん（昭和56年卒）に「高齢者の漢方治療」という講演をお願いいたしました。

室賀さんのご講演は、西洋医学の考え方に対して漢方治療の考え方の分かり易い説明から始まり、鉄道研究部出身のユーモアを交え、漢方薬の抗加齢効果（アンチエイジング効果）について話が及び、有意義な時間を過ごしました。また、慢性疼痛を抱えていた患者さんが、漢方処方に切り換えて改善した事例も紹介されました。

以下に室賀さんの「まとめ」をご紹介します。 室賀さんの益々のご発展を期待します。



東洋医学は、一般に行われる西洋医学とは異なる考え方を有しています。西洋医学では、病気になった時に原因を追究します。それに対して東洋医学では体の歪みを戻し、症状の改善を目指しています。



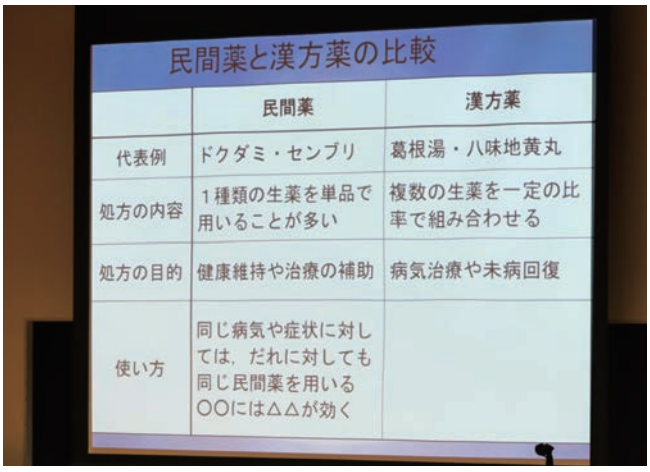
漢方の考え方で、有名な言葉に五臓六腑があります。各臓腑の働きは、西洋医学の考え方と異なる働きがあり、この中で高齢化に関連するのは腎です。

西洋医学の腎臓は、尿を作り、血圧調整や造血ホルモンを産生します。一方東洋医学の考え方では腎は尿を作ることは勿論、人間が生きていくうえでのエネルギーを貯める働きを尊重しています。

この腎の働きが低下した状態を、「腎虚(じんきょ)」と言い、加齢と共に出現し高齢者の多くにみられます。

「腎虚」の治療に使われる漢方として、最も多く処方されるものは「八味(はちみ)地黄丸(じおうがん)」です。

そして、漢方のアンチエイジングと言えばやはりこの処方です。頻尿や腰痛などにも用いられます。
漢方を飲んで、元気に年を重ねましょう。



ご興味がある方は是非、室賀先生にコンタクトください。

オペラシティクリニック
〒163-1407 新宿区西新宿3-20-2
京王線 初台駅より直結
03-5353-7100

獨協祭　参加報告

幹事長　沖山秀司（昭和49年卒）

9月21日（土）～22日（日）獨協祭が開催され、例年同様に同窓会は展示を行いました。今年のテーマは「金栗四三と獨協」です。金栗四三は、大正7年～9年地理の教諭として獨協中学に奉職しました。同時に陸上部（当時の呼称は徒歩部）を指導されました。大正9年2月14日に開催された第1回箱根駅伝競走に先駆けて、金栗先生ご指導のもと、日光 → 目白 駅伝競走、東京高等師範⇔横浜 駅伝競走などが行われていました。放課後は毎日、獨協 ↔ 哲学堂（中野）を往復していたそうです。当時の生徒 黒田 要 氏（大正10卒）の手記（獨協100年誌に掲載）もご紹介し、当時を偲びました。

ＯＢ会活動の紹介では、ドクターズクラブ、歯科医師獨協会、サッカー部、鉄道研究部の展示がありました。

神山一郎氏（S20-5卒）からは、水彩画を含む4点の作品をご提供頂き、印象的な会場風景を作ることが出来ました。

昨年から始めた記念写真スピード提供は大変好評で、プリント数は両日で昨年を上回る175枚でした。

【詳細は同窓会ホームページ『トピックス』に掲載しています】

等身大パネルも展示し自由に撮影してもらいました

記念写真スピードサービス（2Lサイズ）

獨協ぶらり旅

押上よしかつ

佐藤 勝彦 氏（S62）が営む居酒屋＝お好み焼き

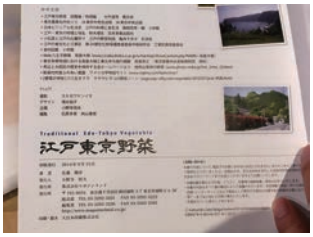
日本獣医畜産大学畜産学部に進学、食に興味をもち27歳でお店の経営を始めました。NPO江戸東京野菜コンシェルジュ協会に所属し講演をし、著書もあります。

江戸前の食材・酒にこだわり、提供されるメニューは調味料も含め全て江戸前産です。老若男女 楽しめる居酒屋さんです。伊豆七島から届くお刺身も最高！お酒を召し上がらない方も、お好み焼きで楽しめます。

是非、お電話で予約を！！

佐藤さんは鉄道研究部OBのため、しばしば鉄研OB達が集います。

ご主人自ら焼いて頂けます



QR コード（google map）で場所をご確認ください

〒130-0002　東京都墨田区業平5丁目10－2
03-3829-6468

記：沖山秀司（S49）

N cafe diner & MUSIC PUB

成川 龍男 氏（S41）が営むカフェ レストラン

JR品川駅港南口駅前、店内はカウンター席・テーブル席の洒落たお店です。成川 龍男 君は昭和35年獨協中学に入学、入るきっかけは家庭教師に勧められて受験したのが始まりでした。中学3年間は主管横山武人先生の教鞭を受けて高校3年間は工学部に入学する為勉強に励んで、法政大学工学部に。卒業後、家業の成川軽合金株式会社へ入社。その後丸井とイギリスのヴァージングループとの合弁会社としてヴァージンメガストアが新宿に出店された際にカフェコーナーとしてヴァージンカフェの委託を受けました。この事をきっかけに2003年にヴァージンカフェ品川店をオープンしました。2016年にヴァージンカフェからNカフェダイナーに店名変更し現在に至っています。

昼のランチタイムにはパスタ、うどん、カレーなどで近隣の会社員に好評で、賑わっています。夜は夜景が良く見えるカウンター席が好評です。

今回、木原会長、谷田貝副会長、沖山幹事長ほか11名と大勢でお邪魔しました。成川君の旧友の中村直人君も来られて獨協時代の話に花を咲かせました。

10月18日に一時品川店を閉店し2022年に白金高輪駅前に自社ビルを建設し、その路面にNカフェダイナーを再オープンします。

右端が成川さん

QR コード（google map）で場所をご確認ください

〒108-0075
東京都港区港南1丁目9－32
アレア品川別館207
03-6718-2466

記：中村昭美（S41）

Lad's Dining ラッツダイニング 新宿西口ハルク店

小林 貴志 氏（H2）が営むイタリアン レストラン

両親のすすめで獨協中学へ入学、テニス部では都大会、全国大会へ出場！
現在 20 店もの飲食店を管理する若き経営者です。
大学卒業後 ムラサキスポーツに就職、その後 ご両親の影響で「プロント飯田橋店」を皮切りに、飲食店経営がスタートしました。「Lad's Dining」は明るい照明と、笑顔で接客する従業員で活気にあふれていました。

石窯（500℃）で焼き上げるpizzaなど美味しい！

小林さんが代表を務めるのは、
株式会社ドリームダブルコーポレーション
設立 1995 年 11 月 (平成 7 年)
■役員：4 名 ■正社員：24 名 ■アルバイト：260 名

左から 木原会長（S47） 盛田 幹さん（H2）
小林 貴志さん（H2） 谷田貝

QR コード（google map）で
場所をご確認ください

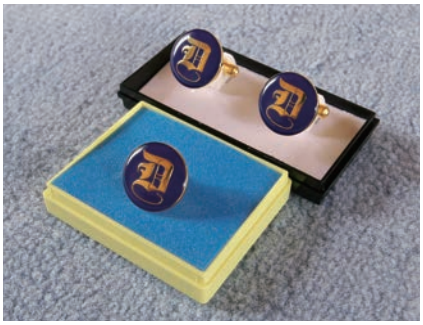
〒 160-0023 新宿区西新宿 1-5-1
新宿西口ハルク MB3
03-6279-0027

記：谷田貝茂雄（S51)

グッズ紹介

今年の獨協祭でも好評でした !!

●ポロシャツ　：2019 年 新作がデビューしました（色 = インディゴ or ホワイト)。
S・M・L・XL・XXL ございます。 2018 年モデルは在庫限り（M・L が少々）です。
●三色ボールペン　：2019 年 獨協祭でデビューしました。
●ピンバッチ & カフスボタン　：2018 年デビューです。
●野球部応援グッズ　：T シャツ & キャップ 2018 年デビューです。



ご希望の方は同窓会事務室までご連絡お願いします
電話 03-3946-6352
info@dokkyo-mejiro.com
スタッフ常勤日は 月・木 13:00 ～ 16:30 です

OB会紹介コーナー

鉄道研究部

鉄道研究部は、1970年10月14日（鉄道記念日）に鉄道同好会として発足しました。以来 毎年獨協祭で受賞を重ね研究部へと昇格して行きました。一方、以前にも同好会は存在していましたが、1968～1969年に当時の高校生が受験に向けて活動を停止してしまったので、新たに創部しました。そして部への昇格を強く志して活動を始めました。

初代顧問 山田直巳先生からご指導頂いた結果「鉄道を通して社会研究を行う」事を目標として掲げ、鉄道公害やローカル線の役割などを調査に合宿を行いました。この命題を探求し、毎年の獨協祭で1年間の研究成果を発表していました。研究に向き合う事で、「目標と手段」を明確化することを学びました。

記：沖山秀司（S49)

1973年（S48）獨協祭 奨励賞受賞記念写真

2015年 3校合同貸切列車

鉄道研究部では、鉄道模型コンテストや獨協祭などに出展する模型の製作や、ミニ電車の運行をするための活動を行っています。季節ごとに関東圏を日帰りで周遊する旅行会、日本各地へ赴く年一回の夏合宿などを通して、学外でも部員同士の親睦を深めています。近年は､旅行会や夏合宿において貸切列車の運行、車庫見学等を行ない、鉄道の実際の現場を体験する研究活動も行われています。部員は現在、中学一年生から高校二年生まで約50人を擁する大所帯となっています。

文化祭では例年、教室内での鉄道模型や鉄道グッズ展示、屋外グラウンドでのミニ電車の運行などを行い、小さなお子様から大人の方まで多くの方々にご来場いただいています。毎年現役部員たちの趣向を凝らしており、ミニ電車のデザインや教室の外装が変わることも人気たる所以かもしれません。

夏合宿や旅行会では、部員内でのグループ行動が主に行われています。撮影したいメンバーは鉄道沿線へ向かい、乗り潰しをしたいメンバーは行先の土地で列車にひたすら乗るなど、思い思いに楽しみます。現役部員の引率として顧問の先生の他にOBも参加し、卒業後も交流をしています。

OB会員名簿登録用です

2015年には山梨県の富士急行電鉄様において、獨協中学・高等学校、獨協大学、獨協医科大学の3校合同での貸切列車を運行いたしました。当日は大月駅から河口湖駅を往復運行し、河口湖駅や下吉田駅では撮影会が行われました。普段はお会いできない他校の方々との交流も､「獨協」という大きなつながりがあってこそできたのでした。

また2018年の獨協祭後には、音羽通りにある「香港料理 桜」さんにて、OB会を開催しました。当日は30名ほどのOBが集まり、現役時代の話から近況についてざっくばらんに話をして、交流しました。

そんな獨協中学・高等学校の鉄道研究部は2020年、創立50周年という節目を迎えます。

鉄道研究部OB会では今後、創立50周年記念式典やOB会の開催など予定しています。

期間を問わず当部にご在籍された皆様からのご連絡を心よりお待ちしております。

2015年貸切電車 トレインマークはDOKKYOオリジナル

dokkyomejirotekken.obkai@gmail.com　記：谷口 蒼（H27）

目白だより

ドイツ エコレアインターナショナルスクールとの交流

教頭　松本麻里子

６月６日（木）～ 10 日（月）の日程で、ドイツシュヴェリーン市（旧東ドイツに位置する都市）にある、エコレアインターナショナルスクールから９名の生徒（男子６名、女子３名）と２名の先生が来校しました。

本校は、ドイツ連邦共和国の外務省が主導し、その文化機関であるドイツ文化センター「ゲーテインスティトゥート」が中心となって世界で展開している施策、PASCH「学校・未来をつくるパートナー」の日本におけるパートナー校４校うちの１つとなっています。今回の交流は、私たちが PASCH 校の１つであり、また環境教育を推進している日本の学校、ということで、エコレアインターナショナルスクールの先生からご連絡をいただいたことから実現しました。

関西に入った一行は、６月６日に東京へ移動し、７日～ 10 日まで東京に滞在しました。この間彼らは、高校２年生のホストファミリーの家に滞在し、日本での生活を体験しました。

獨協生と一緒に登校したエコレアの生徒たちは、高校の授業に参加したり、学校周辺の散策、緑のネットワーク委員会や生物部と相互に研究発表と交流を行い、ホストとなった獨協生たちにとっても、有意義な時間を過ごすことができました。現代文の授業では校歌の意味を英訳して紹介し、古典の授業では百人一首を説明した後、手札を使って「坊主めくり」を楽しみました。柔道の授業では、ゲーム形式で行った準備運動、バリエーション豊かな受け身の練習に、女子生徒も含めて取り組みました。いずれの場面でも、獨協生が英語やドイツ語で積極的にエスコートしてくれた姿が印象的でした。ホストファミリーとなっていただいたご家庭からも、息子が頼りになることが分かった、といった感想をいただくほど、優しく紳士的な獨協生の一面を垣間見ることができました。

準備期間が短かったにもかかわらず、来日したドイツの生徒たちの受け入れを引き受けてくださったホストファミリーのご家庭や、一行の案内や通訳までお引き受けくださった同窓会事務局長の木田さん、同窓生の倉林さんには、ひとかたならぬお世話になりました。改めて感謝申し上げます。

まだこのような交流は始まったばかりです。この貴重な経験をまた次の機会に活かし、ドイツを中心とした海外との交流も今後一層充実させていきたいと思います。

目白だより

ドイツ柔道講習会指導報告

柔道部顧問　萩野元祐（昭和49年卒）

昨年に続き要請があり、今夏もドイツ・カイザースラウテルン市、シュパイアー市と柔道の講習会を行ってきました。各100名の定員講習会、多くの方が参加してくださいました。今回は柔道部ＯＢ岩本敏彦氏（S55年卒・茨城県教員）、講習会模範演技の受けとして大野隼士君（慶応大学２年）の２名が観光を兼ねて帯同してくれました。以下、ご報告させていただきます。

第１日目
8月27日（火）カイザースラウテルン
HEINRICH-HEINE-GYMNASIUM

当校は日本で言えば小学校５年から大学２年までが対象の体育専門コースがある学校です。

柔道に一番力を入れているそうで、ハンガリー世界選手権81kg級・優勝のWIECZERZAK, Alexander選手の出身校でもあります（2019世界選手権東京大会にはAlexander選手、女子＋78kg級のKUELBS, Jasmin選手と２名が出場しています）。柔道以外にはサッカー、自転車、陸上競技など多くの種目でオリンピック、世界選手権、プロに選手を輩出しているスポーツエリート校です。

講習は年齢でＵ15、Ｕ18、Ｕ21と分けて行われました。

10：30 ～ 12:30
Technik-Einheit (Interreg Judo Training Part I)
14：00 ～ 14:45
Trainer-Empfang & Austausch (Interreg Judo Symposium)
15：00 ～ 17:00
Technik-Einheit (Interreg Judo Training Part II)
18：00 ～ 20:00
Randori-Einheit (Interreg Judo Training Part III)

LOKALSPORT

Lehrstunde vom Meister: Jedes Detail zählt

JUDO: Der ranghöchste Judoka Japans, Motosuke Hagino, ist zu Gast am Heinrich-Heine-Sportgymnasium in Kaiserslautern. Athleten sowie Trainer aus Rheinland-Pfalz, Hessen, Bayern und dem Saarland sind nach dem Judosymposium beeindruckt von dem Mann aus Japan, der, wie viele versichern, „Judo vom Feinsten" demonstriert.

8月27日（火）地元新聞のトップページに萩野先生の詳しい紹介と講習会内容が掲載されました。

第２日目
8月28日（水）Speyer柔道協会

シュパイアーはカイザースラウテルンと同じラインラント＝プファルツ洲。カイザーからは車で約１時間の距離、日本ではあまり知られていないドイツ第２の大聖堂がある人口約５万人の都市です。第２次大戦では空襲にあわなかったことから古い街並みが残る静かな観光地です。練習開始までの時間、柔道協会が現地にお住まいの日本人女性の通訳の方を手配してくださり、シュパイアー観光をプログラムしてくださいました。

シュパイアー柔道協会もオリンピック、世界選手権を目指している選手もいるクラブです。
一際目立った動きをしていたMichael Bntle選手はドイツ国内でも国際大会での活躍を期待されている一人だそうです。

シュパイアー

カイザースラウテルン

17：00 ～ 18:45　Ｕ12-U15
19：15 ～ 21:15　Ｕ18-U21 Seniors

ドイツは今年も猛暑。エアコンのない道場、大汗が流れるなかでの講習会にもかかわらず皆さん真剣に説明を聞いてくださり、そして練習されていました。体育学校の練習中に地元の新聞社の取材を受けました。翌日の朝刊のスポーツ欄トップに私の紹介が掲載されて

いたのには正直驚きました。講習会終了後には多くの参加者ご家族の方から望まれ、記念撮影に納まりました。柔道を通しての国際交流、貢献ができたのかなと実感する時でもありました。

今回は柔道部員（高校生）を参加させることが出来ず残念でしたが、 講習会を企画してくださったHEINRICH-HEINE-GYMNASIUM のステファン先生、そして昨年同様、ヨーロッパで超一流ピアニストとして活躍されていらっしゃる古畑祥子様にもたいへんお世話になりました。お二人にはこのような機会を与えていただき感謝しております。

92 号をご覧になった方からのお問い合せについて、執筆された昼間様からご寄稿いただきました。

《がくらん》の表記について

昼 間 良 次

《がくらん》の表記については、私の主たる関心事です。新聞や雑誌では、多くの場合「学ラン」と表記されます。また、学生が着る舶来の洋服、学生が着るオランダ由来の服、との原義を主張する場合に、「学蘭」と使う例が多いようです。この場合、「蘭」はオランダ国を意味する一文字表記と同じ使い方です。なお、オランダとは外国の代表例として用いているにすぎず、広範な意味で外国由来（舶来）としての総称です。

応援団の世界では、「学欄」と表記する例があり、私はこちらを使っています。この場合、反物の単位を表す言い方に「ラン」があり、洋欄とは一張羅の舶来品を指したという説があります。そのため、応援団の学ランは他の学生が着る学生服とは一線を画すので、「学欄」と書くのだと教わりました。以来これまで「学欄」を用いています。

従いまして、どれも間違いとは言えず、むしろどれも正解とも言えます。いずれ解明したいと考えていますが、いくつかの説を追いかけている途上にあります。意識して《がくらん》を使い分けて表記している方には、ご一報ください。その証言も貴重な資料になるので、メモに起こして研究会で報告したい希望があります。これにより、学ランの研究が進展しますので、ご協力をよろしくお願いします。

e-mail：hiruma_ryoji@stf.dokkyo.ac.jp

拙稿に誤りが見つかりましたのでお詫びし訂正します。ギリシャ神話を研究している方から指摘がありました。

（92号８頁左段下から２行目）

誤：「軍神マルクスの表式」→ 正：「軍神マルスの表式」

クラス会・OB会 愉快だより

昭和 20 年 独 5 卒 芽 城 会

平成 31 年 4 月 29 日（昭和の日）、昭和 20 年卒のクラス会を新宿小田急 13 階の「さがみ」で開いた。全員が 91 歳となり、卒業時 150 名いたのに、通知を出したものが 24 名だけになってしまった。当日の出席は、黒沼昭夫、畦森公望、池田正樹、鹿島正安、牧豊、神山一郎の６名だけであった。

他の 18 名はそれぞれ何らかの形で、体に障害を持つものが多く出席できなかったのは残念であるが、これも年には勝てないためやむを得ないのだろうと、考えざるを得ない。

来年の再会を約して閉会とした。来年はこれ以上減らないことを念じている。（記：神山）

昭和 20 年 独 5 卒 芽 城 会

昭和 20 年 5 卒ドイツ語科クラス会で、有志が年５～６回開く会合を７月 20 日（土）池田、鹿島、畦森、黒沼、牧、神山の６名で開いた。

来年は、獨協を卒業してちょうど 75 周年になる。これを機に、我々が過ごした木造の校舎と比べて、極楽のような新しい校舎を見学したのち「椿山荘」で、最後になるかもしれない「75 周年記念クラス会」を開く予定を、出席者一同全員一致で合意した。

（記：神山）

クラス会・OB会　愉快だより

昭和 27 年卒 花の27会

2019 年 9 月 21 日（土）　13：00 ～ 15：30
飯田橋　レストラン「トリノ」
幹事：神倉孝夫、以下 10 名、計 11 名集合。各自近況その他報告。一年振りの再会の事で賑やかに談笑、大いに盛り上がり、来年もまた今頃に元気で集まることを約して解散。今年度は物故者も発生せず、おめでたいことであった。　（記：大澤純二）

昭和 35 年卒 ドイツ語クラス会

恒例となっているクラス会を６月１３日（木）に「赤坂維新號銀座新館」で開催した。
昭和 29 年獨協中学ドイツ語クラスに入学し、高校卒業までの６年間を共に過ごした仲間のこの会は、すでに 30 年以上毎年欠かさず開かれている。
中学入学時のクラス担任であった新宮譲治先生、高校３年時のクラス担任の小島晋治先生も毎回参加されていたが、小島先生は一昨年他界、新宮先生は体調を崩され今回は欠席であった。卒業時の人数が 31 人という少人数クラスの我々は、多感な少年時代を天野貞祐校長のもと極めて自由な雰囲気の中で、学問的に優れかつ極めて個性的な先生方の謦咳に触れ、薫陶を受けたことは実に幸せなことだったと思っている（鏡花研究の第一人者村松定孝先生、「令和」の考案者中西進先生にもクラスを担任していただいた）。
年齢をものともせず現役で忙しく働いている仲間、体調を崩している仲間などもいて今回の出席は９名であったが話は尽きず、再会を約しての散会となった。
（記：藤谷 明）

昭和 36 年卒 3 年 6 組同窓会

６月 10 日新宿中村屋にて昭和 36 年卒３年６組の同窓会を開催しました。医科歯科会、法曹会、学界、芸術会、実業界等々で活躍した強者 18 名が出席し卒業後 60 年の月日を忘れ青春時代の話で盛り上がりました。
次回の幹事は二見、佐藤（隆）両君が指名され、来年の再会を約しました。　（記：木内）

昭和 38 年卒　英語クラス同期会

やや遅く来たかの感じもするが、うだる暑さのもと、恒例の 38 年卒英語クラス同期会が、令和元年７月 27 日、例年どおり上野公園内「韻松亭」にて開催され６名が集う。久し振りの為か、年齢の為か、複数人による今回の主な中心話題は自らの健康と政府がＰＲする「働き方改革」に関連する日本と米国の医療と医療教育制度の差の話となる。昨年は救急車に世話になるなど体調に違和感を抱いた経験談を含めての相互会話となる。説得力のある内容の拝聴とともに、いまだ成長する一人の人間と感じたひと時である。
最近、他の仲間では物故者が必ず存在するのに、何故か私達の仲間では皆無という不思議さが指摘されたので、次回は後期高齢者である全員が出席可能となり、明るい話題で埋まるよう祈りながらの散会となる。
（記：辻 定利）

昭和 41 年卒　第20回 ミニクラス会

2019 年第 20 回ミニクラス会を令和１年７月６日（土）に開催しました。場所は銀座６丁目の中国薬膳料理「星福（シンフウ）」。
毎回幹事は平岡君がインターネットと電話で連絡を

して昭和 35 年中学入学時２組を中心に１組の一部のメンバーとで１月と７月に開催しております。

今回は上原君、平野君、喜多君、白水君、島田君、立野君、山口君、横山君、平岡君、巣瀬君、正木君、相馬君、３組の土屋君、１組から菅谷君と中村の 15 名です。

「星福」にて２回目開催されることになり、１月には参加できるが夏は駄目ですという方がいるので、なるべく多くの参加者を増やしたいとの幹事の配慮です。

幹事の平岡君が乾杯の音頭で開催し各自の近況や今後の予定に話を咲かせており、最近は体調不良で間際のキャンセルも多くなり平岡君も御苦労されております。

３組から参加している土屋君から、９月 29 日（日）に南国酒家（原宿）で同期会をやりたいので、参加して欲しいとの話もあり都合のつく限りの条件で同意してました。次回のミニクラス会は一月会と合同で 2020 年１月 25 日（土）品川の予定で行います。

また来年１月の会で会いましょう。（記：中村昭美）

昭和 53 年卒　獨協ハーフ会 還暦を祝う会

去る９月 14 日 (土) に恒例の獨協ハーフ会 (昭和 53 年獨協高校卒業生有志の会) が『 上野 精養軒 3153 店』にて開催されましたのでご報告致します。本校を卒業して 40 年以上たちましたが、当時の仲間と還暦祝いの赤いチャンチャンコを着て、恩師の冨岡卓先生には喜寿のお祝いで紫のチャンチャンコを着て戴き参加者全員でお祝いしました。今回は卒業以来初参加の方もおり、一同獨協生に戻りおおいに盛り上がりました。サプライズで冨岡先生から参加者全員に還暦記念の赤いメモリーまで戴いちゃいました。先生誠にありがとうございまーす。

同期の皆さん、我らも還暦、今だに悩み多く (仕事・子育て・親の介護・自身の健康問題などなど) いろいろな意味で大変な時期であるとは思いますが、人生ハーフもう一踏ん張り頑張りましょう。

（記：西原由恭）

平成 29 年卒　第 69 期生成人を祝う会

2019 年１月 14 日椿山荘にて、平成 29 年（2017 年）卒「第 69 期生成人を祝う会」を開催しました。中高学年会の先生方をお迎えし、同期会参加者 107 名で成人を祝い、２年ぶりの再会を楽しみました。先生方にも少し成長した姿をご覧いただけたと思います。

獨協での６年間を共に過ごしそれを礎に今はそれぞれに頑張る私たちに先生方から温かいお言葉を頂戴し、これからも獨協高等学校卒業生として上を目指して成長出来るよう努力しようと皆心に思ったに違いありません。

これからも獨協の益々のご発展を同期生一同お祈り申し上げます。　（記：米山徹朋）

さいたま目白会

令和元年６月６日、パレスホテル大宮にて第 10 回さいたま目白会が開催されました。この会は獨協高校の卒業生で主に埼玉県内で医療に従事している方を対象にした親睦勉強会です。会の参加者を講師として講演をしてもらい、診療科目が異なるため大変勉強になります。今回は岩槻南病院院長丸山泰幸先生（S59）に「虚血性心疾患に対する最近の脂質低下療法に関して」という演題でご講演していただきました。座長はこの会の代表世話人である寺師義典先生（S50）が行いました。丸山先生は循環器専門医で、急性心筋梗塞などの急性期疾患から回復期までご自身の病院での事例を踏まえた報告があり、特に最近では回復期の心臓リハビリテーションに精力的に取り組んでおり、いとこの SAM さん（S55）の考案したダンスを高齢者や心臓リハビリ用に丸山先生が監修したものをご紹介いただきました。昨年岡山市医師会主催の「第 20 回岡山市民と医師会の集い」の中で、「健康ダンスセミナー　ダレデモダンス」に丸山先生も SAM さんと一緒に参加しました。このことは三浦寛人先生（S50）が前号に報告しています。

講演会後、私の乾杯にて懇親会が始まりました。参加者全員に挨拶と近況を報告してもらい、最後に世話人である田中正顕先生（S53）に締めの言葉をいただきました。主な参加者は以下の通りです。菊池崇知

クラス会・OB会　愉快だより

(S50)、鷺谷敦（S53)、須田淳（S59)、鈴木英彦（S57)、島田裕司（S52)、吉松栄彦（S59)、成田亨（S53)、松本充也（H11 卒)、須賀幾（S59)、石上浩庸（S58 卒)、志村浩（S57)、岩下和宏（S57)、内田豊彦（S60)、吉津徹（S50)（敬称略）

お近くの同窓におかれまして、ご参加をお待ちしております。　（記：S50 年卒　鈴木義信）

ワンダーフォーゲル部OB会「秋の親睦会」

ワンゲル OB 会では毎年秋に親睦会を行なっています。今年は 9 月 15 日～ 16 日に会員会友合わせて 13 名の参加者を得て開催されました。

寮庭にブロックでかまどを作り、秋刀魚、鮎、ハマグリ、ホタテ、ラムチョップ、タン塩をはじめ、いろいろな野菜などを材料に BBQ を楽しみました。

1987 年の OB 会設立当初は飯能河原で行なっていましたが、1993 年からは台風などで中止になった時以外は毎年小諸の日新寮をお借りして親睦会を開いています。最盛期は 40 名を超える参加者がありましたが、ここ数年は 15 名前後になってしまいました。それでも気の知れた仲間ということもあって楽しいひと時を過ごしています。

新しいメンバーの参加を歓迎しています。是非、同期の方などを誘って参加ください。活動の状況は HP でご覧いただけますので、是非覗いてみて下さい。
http://dwvob.sakura.ne.jp/wp/

（記：ワンゲル OB 会広報担当 47 年卒　手島達雄）

獨協ソフィア会からのお知らせ

「獨協ソフィア会」が上智大学ソフィア会登録団体に認定されました。会員は 20 数名ですが更に会員を募って親睦を図り、獨協・上智の為の一助になればと思っております。是非ご参加下さい。

t-@japan-miyazaki.co.jp　宮崎輝雄（昭和 42 年卒）

私の近況

●独協通信有難う御座居ます。懐かしく拝見させてもらいました。百才も後数ヶ月、何とか元気です。総会の御盛会をお祈りします。　＜中島　一（昭 12 卒)＞

●私は現在の年齢は九十六歳と 5 ヶ月です。投稿は毎回同じ事ですが趣味の音楽（バイオリン）を生甲斐として毎日を過ごして居ります。独協通信 92 号で同期有賀境民の訃報を知り又一人友がこの世を去り、淋しい限りです。　＜小澤 武彦（昭 14 卒)＞

● 90 才台に入り歩行がきつくなりもっぱら自宅にこもっています。目白駅から学校迄毎日歩き、皆勤賞を頂戴した旧制獨協中学時代を時々懐しく思い出す昨今です。　＜桜井 保光（昭 17 卒)＞

●本年 3 月で 93 才になりました。それなりに体力気力の衰えを感じますがまずまず元気にその日を送っております。　＜佐々木 亮嘉（昭 18 卒)＞

●何処へ出掛けても最年長扱いされるようになりました。仏様に一番近付いている？ささやかな趣味（ダンス）とボランティア活動（地域の子供科学館）で遊んでいます。獨協生であった事を懐かしく誇りに思っています。　＜黒沼 昭夫（昭 20 卒)＞

● 5 月 26 日放映の NHK 大河ドラマ「いだてん」で主人公主人公金栗四三氏が 2 回目のオリンピック出場のため、獨協中学を辞任したという手紙のシーンがありました。母校の歴史と当時の記録などあればと思いました。　＜橋本 徳朗（昭 23 卒)＞

●現在 87 才東京 40 年神戸 47 年余生を神戸で、送っている。学友、親類、全て東京だが平成 7 年阪神淡路大震災があり唯一の親（家内の母）の面倒を見る要があり神戸の人となった。遠路の為同窓会欠席残念。　＜橘 蓁（昭 25 卒)＞

●パーキンソン病のため、（自宅近くの）東京多摩病院に入院中です。（電 03-3488-3191）（狛江市岩戸南 2-2-3）　＜東山 健吾（昭 25 卒)＞

●相変わらず、幾つかの研究会への出席、時には発表、読書の生活です。元気です。　＜酒井 府（昭 28 卒)＞

●平成 31 年心臓僧帽弁閉鎖不全で形成術を受けて九死に一生を得た。81 歳を人生の再スタートとして好きな物を食べ、行きたい所に旅をし、読書三昧に徹して我が人生を謳歌したいと思っています。　＜小川 秀明（昭 32 卒)＞

●昨年インフルエンザで入院。今は週 3 回デイサービスでリハビリをしています。在校中は毎月曜日の天野校長先生の訓示を懐かしく思い出されます。　＜佐藤 寿（昭 33 卒)＞

●今年 79 才になり人並みに前立腺がんなどになり内照射中です。趣味のトライアスロンも今年一杯お休みで水泳だけは続けています。年をとるということはこ

れなりに楽しいものです。　＜金子 宏（昭 34 卒）＞
● 34 年卒の私には一昨年前喜寿記念合同クラス会を行いました。当時の出席者は 48 名でした。その後日年に 2 回程度同窓辰巳会を開催しています。
＜原 鍈一（昭 34 卒）＞
●年令（79 才）に相応して、世間の老人並にそこそこに生きています。　＜樋田　修廣（昭 35 年）＞
● 75 歳を過ぎると身体が思う様に動きません。ましてや 49 才の時心臓のバイパス手術を受け、今は除細器付ペースメーカーが身体に入っています。細く長が～く生きる覚悟でガンバリま～す。
＜小泉 勝暉（昭 37 卒）＞
●高校・大学軟式テニス部で活躍し横浜鶴見で 40 年前からテニスクラブを経営してます。75 才になりますが今でもテニスコーチでコートを動き回っています。「ケンウッドテニスクラブ」です。ホームページで観てみて下さい。　＜金井 謙次（昭 38 卒）＞
●仕事の量も減り毎日が休日に成ってしまい暇な毎日となりました。仕事をして動いていた時は病院に行く事も無かったのですが、ここのところ世話に成る事が多く成り、年を感じますが元気に毎日を過ごしております。　＜小山 憲雄（昭 38 卒）＞
● 73 才になり元気にしております。週 2 ～ 3 回で調剤薬局で勤務しています。＜花輪 良一（昭 39 卒）＞
● NHK 関連会社で NHK ワールドという海外向けチャンネルで放送する番組の英語版制作に関わっています。日本の文化情報の海外発信の一助となれば、との思いから老骨にムチ打ちながらがんばっております。
＜亘理 正雄（昭 40 卒）＞
●功労会員になるといっきに年を取ったみたいです。70 歳を過ぎると高齢者扱いで免許も更新が面倒になるとのことで、ますます年寄り扱いになるのですね!! まだまだ体を動かして、生活をしたいですね!!
＜中村 昭美（昭 41 卒）＞
●歯科医師獨協会世話役代表を務めております。今年、獨協大学で西周先生・生誕 190 年記念企画展がありました。先生が当時シーボルトのつてでオランダに留学した際、法学や経済学を学んだシモン・フィッセリング教授のひ孫と先生のご子孫の引き合わせを僭越ながら取り持ちました。偶然にも歴史の壮大なロマンに立ち会っております。　＜池松 武直（昭 42 卒）＞
●只今晴耕雨読ですごしております。一人減り二人減り友人が去ってゆきます。今居る友人を大切にしてゆきたいと思います。　＜渡辺 雅博（昭 42 卒）＞
●神話の国日向（ひむか）に移住して 5 年、悠悠自適に海釣りとゴルフ三昧を 40 年連れ添った妻と愚痴り合いながら暮らしています。楽しみは毎週金曜にプラットバスで飲みに行く「角打ち」です。酒屋で漁師サラリーマンとの立ち飲みです。
＜日高 憲志（昭 44 卒）＞
●調布市で内科・小児科を開業医として 37 年が過ぎました。娘 2 人共医師になり後継をしてもらう準備が出来ました。まだまだ現役で頑張ります。
＜桐生 成一（昭 44 卒）＞
● 3 月で定年退職でしたが、 4 月から引き続き獨協医大埼玉医療センターに勤務し、医大付属看護専門学校三郷校学校長を併任しています。昭和 44 年の入学から今日まで獨協学園にお世話になっております。
＜上田 善彦（昭 47 卒）＞
●毎号楽しみに読んでおります。なつかしい名前を見付けますと、思わずアルバムを見てしまいます。私は 67 才になりますが、今、自治会では防災と環境担当として楽しんでおります。また 50 年ぶりにギターも再スタート！　＜田原 理 一郎（昭 48 卒）＞
●私の所属医師会に同窓生が 7 名いることがわかり、H 31 年 4 月に 41 年卒里村淳先生、私、52 年石川亮先生、60 年矢舗素久先生、61 年叶澤聡先生、63 年佐藤俊博先生の 5 人が集まり同窓会を開催しました。
＜大島 康成（昭 48 卒）＞
●宮城県立こども病院発達診療科で働いています。アフター 5 は入院している重度のこどもの部屋を訪れサーランギを奏でています。テレ政宗（ＮＨＫ）に取材されたので見て下さい。Narayan in Telemasamune で Youtubu で検索して下さい。
＜奈良 隆寛（昭 49 卒）＞
●現在同窓会副会長を任されています。クラス会と異なり年令の異なる多くの同窓生と知り合い、「獨協でよかった」と再確認する毎日です。残された時間を見返りなく同窓会のために心血を注ぐ覚悟です。
＜谷田貝 茂雄（昭 51 卒）＞
● 4 月に還暦を迎えました。振り返ると自分のために生きた昭和の 30 年。家族を得て家族のために生きた平成の 30 年でした。昨年 30 年添い遂げた家内を失くし、人生の第 3 ステージとして令和の時代エンジョイしま～す。　＜西原 由恭（昭 53 卒）＞
●木原会長を含めて 5 代の会長のもと同窓会に関わらせて頂きました。実に 20 年近くなりますが、同窓会も母校も改革意欲が強く進化していると感じます。今後は 40 才代の後輩達をもっと巻き込みたいです。
＜谷口 有三（昭 53 卒）＞
●昭和の杜病院も 9 月より 180 床と増床し、ますます多忙な日々を送っています。同窓会も常任幹事・総務副委員長として頑張っています。娘も大学へ進学し、少しホッとしています。　＜野村 芳樹（昭 54 卒）＞
●昨年のクリスマスイブは、オーストリアのザルツブルク近郊のオーベルンドルフを訪れました。クリスマスソング『きよしこの夜』の生誕 200 周年のイベントに参加しました。当日は 7000 人程度の人々が集まりました。　＜神谷 善弘（昭 57 卒）＞
●第 92 号に投稿させていただきましたが、「即興 100 年目」は「創立～」の誤植ですね。
＜行木 太郎（平元卒）＞
●長女は女子高に入学。次女は中 2 。長男は小 4 になりました。私は。入区 22 年目。主査で 2 年務めた区民事務所の所長になりました。
＜藤島 一郎（平 7 卒）＞
●先日、母を亡くしました。79 歳で、まだ元気でしたが、突然の出来事でした。悲しみの中、中高の親しい友人が駆けつけてくれた事に救われました。人を支えるのは人、しみじみありがた味を感じます。
＜春宮 淳一（平 7 卒）＞
●卒業して 10 年経ちました。今は警察官として、日々勤務しています。最近は獨協時代の友人と日本全国ツーリングに出掛けています。会えば必ず中学高校時

私の近況

代の話。とても思い出深い獨協生活だったと今になって強く思います。　＜江速 昌秀（平 21 卒）＞

●大学では哲学と美術史を学んでいます。自分の趣味とも繋がり、学んでいて楽しい分野です。今後も学びに力を入れていきます。　＜國井 龍樹（平 31 年）＞

●家で一人黙々と勉強の毎日。映画は学割きかない。ハブられている（社会的に）… 何かに所属するとは何なのかを改めて考えさせられるそんな時なのか … 業種の欄に無職がないのもそれを自覚しろと言われているようだ。　＜青山 令（平 31 年）＞

●新しい駅を利用し始めたら、客引きに 3 回程あいました。みんなも客引きにあったら、絶対付いて行ったらダメだからな。　＜橋本 悠河（平 31 卒）＞

●今年から立命館大学びわこ・くさつキャンパスに入学し毎日自転車で 15 分登り坂をひたすらペダルをこいで通っております。琵琶湖も近くて緑も多く、東京生まれ東京育ちの私にはいい意味でのカルチャーショックでした。これからの 4 年間ワクワクして過ごしていきたいと思います。　＜厚谷 龍司（平 31 卒）＞

寄付金納入者一覧（「92 号」以降）

（敬称略）

中島　一（昭和 12）
佐々木亮嘉（昭和 18）
竹内正和（昭和 18）
神山一郎（昭和 20）
岩間重夫（昭和 23）
尾嶋章裕（昭和 28）
桑嶋陽一（昭和 29）
河井　弘（昭和 29）
佐武一英（昭和 31）
会田康二（昭和 31）
鈴木武央（昭和 32）
塩崎晴朗（昭和 34）
原　鍒一（昭和 34）
西部昿介（昭和 34）
大沢悠里（昭和 34）
林　俊麿（昭和 34）
鈴木荘太郎（昭和 35）
森山知英郎（昭和 35）
神保孝雄（昭和 35）
里見　治（昭和 35）
小西泉隨（昭和 36）
益井邦夫（昭和 37）
住友史人（昭和 37）
大隅敏彦（昭和 41）
平岡徳朗（昭和 41）
森田芳和（昭和 41）
宮﨑輝雄（昭和 42）
浅野　一（昭和 42）
中島寛和（昭和 44）
橋本龍二（昭和 45）
木田宏海（昭和 46）
西原　潔（昭和 46）
吉村昌樹（昭和 47）
上田善彦（昭和 47）
森　一博（昭和 47）
久代裕史（昭和 49）
木村宗孝（昭和 50）
伊藤英一（昭和 52）
佐々木　隆（昭和 53）
都築　基（昭和 54）
早船佳文（昭和 54）
野村芳樹（昭和 54）
高田正道（昭和 55）
須田　淳（昭和 58）
菅谷敦人（昭和 58）
吉松栄彦（昭和 59）
河崎　健（昭和 60）
梶田利文（昭和 64）
玉井道寧（平成 4 ）
藤島一郎（平成 7 ）
星野　剛（平成 10）
稲葉由樹（平成 23）
萩原稔之（平成 31）
歯科医師獨協会
獨協同窓会ドクターズクラブ

ご協力ありがとうございました。今後とも会費納入および財務拡充のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

獨協同窓会は任意団体のため、寄付金控除制度の対象になっていません。
確定申告での所得控除や税額控除は受けられませんので、予めご了承ください。

物故者名簿（『独協通信』92 号以降）　ご冥福をお祈り申し上げます

卒業年	氏　名	物故年月日
昭和 11 年	北川　和夫	1999/7/14
昭和 19 年	石岡　　靖	2018/2/8
昭和 19 年	藤原　　清	2018/6/7
昭和 19 年	中塚　好朗	2019/3/19
昭和 19 年	内田　元雄	2019/8/11
昭和 20 年	加藤　　護	1999/9/26
昭和 20 年	志茂　寧郎	2018/6/21
昭和 21 年	財津　直人	2018/7
昭和 22 年	小林　哲夫	2018/3/4
昭和 22 年	清水　宏康	
昭和 23 年	内海　敏雄	2019/2/2
昭和 29 年	大野木貞明	2019/6/5
昭和 35 年	善利　博臣	2018/6
昭和 35 年	今村　　衛	2019/3/17
昭和 35 年	中島　勝三	2019/5/1
昭和 36 年	石代　　紘	2017/11/21
昭和 37 年	山岡　敏彦	2016/7/31
昭和 38 年	茂山三樹夫	2018/9/5
昭和 41 年	中村　修二	2019/2/6
昭和 50 年	原　　正樹	2019/2/10
昭和 42 年	塩野　幸一	2018/11/19
昭和 44 年	土戸　直樹	2018/8/15
昭和 46 年	井上　高文	2015/4/24
昭和 46 年	小倉　久道	2019/9/6
昭和 50 年	黒坂　一郎	2019/1/25
昭和 51 年	植原　克彦	2016/1/27
昭和 51 年	黒澤　秀光	2018/7/29
昭和 53 年	大野　真澄	2014/10/14
昭和 55 年	森島　康之	2018/4/8
平成 7 年	赤坂　和也	2019/4/21
平成 21 年	廣瀬　正和	2014/5/21

クラス会・OB 会等補助金のお知らせ

同窓会では 1 開催につき 1 万円の補助金を助成しております。

- 対象となる会合：クラス会、年度クラス合同会、地域支部会、大学等における OB 会、クラブ OB 会、その他（学年を越えたドイツ語クラス会等）。参加人数は 5 人以上。
- 回数：いずれも年 1 回。
- 申請：開催責任者が事務局に申請して下さい。
- 添付書類：案内状等があるときは添付して下さい。
- 交付：事前に同窓会事務局に連絡して下さい。
- 報告：補助金交付後 30 日以内に「独協通信」への原稿を送付して下さい。写真・当日整理された名簿があれば添付して下さい。

ご連絡をお待ちしております。

SASAKI LAW OFFICE
佐々木綜合法律事務所
東京都千代田区神田須田町 1 丁目 26 番　芝信神田ビル 10 階
TEL 03-3255-0091　FAX 03-3255-0094
相続・不動産・企業法務など
さまざまなお悩みを承っております。
お気軽にお問合せください
東京弁護士会所属
弁護士 佐々木広行(昭和61年卒)
〔平成 28 年度 東京弁護士会副会長〕

医療法人社団
野村会 昭和の杜病院
東京都昭島市宮沢町 522-2
理事長　野村芳樹（昭和 54 年卒）
医療療養型 180 床・透析ベッド 36 床
入院（一般内科・透析）・外来透析・各種健康診断随時ご相談ください
TEL 042-500-2611　FAX 042-500-2612

～甲状腺を病む方々のために～
ITO HOSPITAL 伊藤病院
院長　伊藤公一（昭和 51 年卒）
TEL. 03−3402−7411　東京都渋谷区神宮前4−3−6　www.ito-hospital.jp
医療法人社団甲仁会
理事長 伊藤公一
NAGOYA 名古屋甲状腺診療所
TEL. 052−252−7305
名古屋市中区大須 4-14-59
www.kojin-kai.jp/nagoya/
SAPPORO さっぽろ甲状腺診療所
TEL. 011−688−6440
札幌市中央区大通西 15 丁目 1-10　ITOメディカルビル札幌 5F
www.kojin-kai.jp/sapporo/

協賛広告募集

同窓会では、財務体質改善の一助として、「独協通信」紙面上の協賛有料スペースへの広告掲載を募集しています。会員の皆様から、個人名又は法人名での広告掲載も受け付けています。ご希望の方は、同窓会事務局にお問い合わせご相談ください。「広告掲載取扱い規定」により対応いたします。なお、次号掲載は、「独協通信」94 号で、令和２年５月発行を予定していますので広告原稿・版下の入稿締切は、３月中旬となります。①発行部数約 12,000 部、②掲載料金大枠が 4 万円、小枠が 2 万円。

獨協同窓会支部会の立ち上げ

地域別の獨協同窓会支部会（北海道、東北、九州、海外等の単位で）を立ち上げませんか。
ご賛同いただける方は同窓会事務局までご連絡ください。

平成の卒業生を募集しています

同窓会の運営に参加いただける方を募集しています。
独協通信の編集、獨協祭での展示や同窓会運営のアイデアなど、平成の風を欲しています。
年に数回の会議に参加可能な方、ご連絡をお待ちしています。

独協通信 ＯＢ会紹介コーナーについて

独協通信 92 号から新たにＯＢ会紹介コーナーを設けましたので、振ってご投稿ください。
文字数・写真などは本通信７ページの鉄道研究部ＯＢ会をご参考にしてください。

獨協祭 ＯＢ会紹介コーナーについて

獨協祭ではＯＢ会の活動を紹介するコーナーを設けています。2020 年９月に開催されます獨協祭へのご参加を募集しています。

92 号 訂正してお詫び申し上げます。

「袖章の由来」	8 頁左段下から 3 行目	誤：橄欖（かいらん）（オリーブ）	→	正：橄欖（かんらん）（オリーブ）
	8 頁左段下から 2 行目	誤：「軍神マルクスの表式」	→	正：「軍神マルスの表式」
「私の近況」	22 頁右段上から 14 行目	誤：即興 100 年目	→	正：獨協 100 年目
	＜行木太郎様＞			

独協通信 94 号（令和２年５月中旬発行）の原稿募集

締切日：令和２年２月末
同窓生の皆様から、ご投稿をお待ちしています。
① ドイツ語圏におけるご体験など（800 字）
② クラス会、OB 会、など集いのご報告（200 字）
③ 獨協の思い出（800 字）
④ 近況のご報告（200 字）
＊頂戴しました原稿への加筆・修正、一部削除などはご承知ください。
＊独協通信は同窓会ホームページにも掲載されますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

郵送の場合 ➡ 〒 112-0014　文京区関口 3-8-1　獨協同窓会
メール ➡ info@dokkyo-mejiro.com
電　話 ➡ 03-3946-6352　（毎週 月・木　13：00 ～ 16：00）